



日本手話とは

ろう者が大切に守ってきた伝統的な手話のことで、『日本語』とは異なる独自の文法体系を持つ言語で、手指だけでなく、顔の表情や体の動きも文法の役割を果たします。



「聴覚の障害」…障害の原因や聞こえの程度は人によってさまざまです。

ろう者

日本手話を母語として使用し、日常生活を送る人のことを言います。

日本手話のある環境の中で日本手話を自然に習得します。

難聴者

耳が聞こえにくい人のことを言います。補聴器を使用して音声で会話をする人もいますが、筆談や手話でコミュニケーションを取る人もいます。

中途失聴者

もともと聞こえていたけれど、後に耳が聞こえなくなった人のことを言います。

コミュニケーションの方法は、難聴者と同様です。

重要!

聴覚に障害のある人は、日常生活でこんなことに困っています。

- 車のクラクションに気づけない
- 電車やバスのアナウンスが聞こえない
- 聞こえる者同士の会話に参加できず、疎外感を感じてしまう
- 声をかけられていることがわからず、無視していると誤解されてしまう



災害時の場合も…

- 防災行政無線の放送やラジオなどが聞こえず、災害に関する情報が不足し、非常時に適切な行動を取ることができない
- 聴覚に障害がある人は、外見だけではわかりづらい障害であるため、周囲の人にわかってもらえず、避難所等で孤立してしまいがちになる…など、ほかにもたくさんあります。



地域の皆さんへ

困っている障害のある人を見かけたら、積極的に声をかけるなど、支援をするように心がけましょう。聴覚に障害のある人などと交流を深めることが、障害の理解につながります。

ポイント

聴覚に障害のある人とのコミュニケーション方法は？



手話

- ・日本手話
- ・指文字
- ・日本語対应手話 (手指日本語)等



筆談

紙、ノート類
空中に書く
(空文字)



補聴器

音を増幅する機械。音声での会話が可能な人もいます。



手話通訳

音声⇔手話に変換して通訳し、コミュニケーションを仲介します。



要約筆記

音声の情報を要約します。
・手書き要約
・パソコン要約

電子機器等を活用した情報伝達手段があります (文字の表示、テレビ電話、アプリ機能など)



携帯電話



スマートフォン



タブレット端末



テレビ (字幕放送)



ファックス

やってみよう!

知っておくと便利な手話を一部紹介します。

朝霞

手話

よろしくお願いします

ありがとう

そうです

違います

※「広報あさか」にて、「日本手話情報コーナー」を掲載しています。ぜひご覧ください。